

たのはた

2010
No. 519

5

両親に見守られ 新しい生活スタート

4月13、14日の両日、村内の各児童館・保育所では統合前最後の入園式が行われました。14日の浜岩泉児童館には、かわいい4人が入園。三上煌陽君(3)は先生に名前を呼ばれると、手を挙げ大きな声で返事をしていました。(関連記事は18頁)

主な内容

- 新生・田野畑小学校「開校」……2頁
- むらづくり基金の概要 ……11頁
- 運行スタート「タノくんバス」…12頁
- 議会だより ……14頁

開校式は午前10時から同校体育館で行われ、2年生から6年生までの児童169人と関係者や保護者など約100人が出席。上机莞治村長は「今日は、村の小学校教育にとって歴史的な日になりました。力を合わせて新田野畑小の歴史を刻んでいってください」と式辞。佐々木源良村教育委員長は告辞で「6小学校の特色ある大きな成果を引き継ぎ、みんなで協力して粘り強く目標に取り組む田野畑小にしてください」と児童たちに呼び掛けました。



校旗を披露する早川校長㊦と畠山歩佳さん

あふれる田野畑小を目指して新しい学校をつくっていきましょう」と決意を話しました。

その後、新しい校旗が石岡三郎教育長から早川校長、畠山歩佳さん（6年）に伝達され、出席者に披露されました。校章のデザインは、旧6小学校が手を取り合っている様子がイメージされ、輪の色は赤・田野畑小、紫・沼袋小、緑・羅賀小、黄・机小、水色・浜岩泉小、白・島越小を表しています。

は、旧6小学校が手を取り合っている様子がイメージされ、輪の色は赤・田野畑小、紫・沼袋小、緑・羅賀小、黄・机小、水色・浜岩泉小、白・島越小を表しています。

児童代表の小野諒太君（6年）は「3月に6つの小学校が開校し、僕たちは寂しかったです。でも今日、新しい田野畑小が開校し、たくさんの友達と会って寂しい気持ちには吹き飛びました。8日の入学式にはかわいい19人が入学し、全校児童188人で、思いつきり遊んだり、勉強したりしながら、一緒に頑張っていこうという気持ちでいっぱいです。僕たちはいろいろ

「何事もあきらめない学校を目指す」と力強く誓いの言葉を述べる小野諒太君

平成22年4月6日。村に新しい小学校が開校しました。村内で唯一の小学校となった「村立田野畑小学校」。3月に閉校した田野畑・沼袋・羅賀・机・浜岩泉・島越の6小学校が統合し、新たな学校として生まれ変わり歴史と伝統を刻み始めました。

一本の太い道へ



六つの歩みが今



田野畑小学校校歌
作詞 山名秀樹
作曲 太田代政男

一 山峡架ける 夢の橋
陸中の海 碧々と
若い理想を ひらく故郷
朝日に輝く 学び舎で
われらの明日を 築こうよ

二 守り育てた 伝統は
未来につながる 人の知恵
よろこび集いて 受け継がん
心をひらいて 肩を組み
われらの夢を 拓こうよ

三 どんなに時代が 移りても
自学の心 学びゆく
かしこくゆたかに たくましく
意欲あふれる 学び舎は
ああ われらの 田野畑小学校

4月8日の入学式。全校児童188人が新しい田野畑小校歌を斉唱

特集 新生・田野畑小学校

開校



武田 響平^{きょうへい}君
(旧机小)

開校式の時は、机小にもう通えなくなるのでとても寂しい気持ちでした。開校式が終わって、これからこの田野畑小で勉強を頑張ったり、いっぱい遊んだりするぞという気持ちになりました。

全校児童も同級生も増えたので、まだまだ知らない人もたくさんいます。でも、その分たくさんの新しい友達をつくるので、とても楽しみです。不安なことは勉強についていけるかどうか。苦手な漢字と算数、それと運動を頑張りたいと思います。机小では、みんながとてもきれいに掃除をしていたので、田野畑小でも掃除をきちんとしていきたいです。

開校式を終えて頑張っていくぞと決意

沼袋小の開校は寂しかったけど、新しい学校で勉強できるうれしさのほうが大きかったです。沼袋小では、同級生がいなくて自分1人だけだったので、体育などもみんなでできるのでとても楽しみです。それと友達と一緒に毎日おしゃべりできるのがうれしいです。

6年生になったので、みんなを引っ張っていけるように頑張ります。運動会や学習発表会を全校児童188人で一緒にできるので、今からとても待ち遠しいです。修学旅行も楽しみ。

沼袋小はみんなのあいさつがとても良かったので、田野畑小でもそのあいさつの良さを生かしていきたいです。

全校行事の運動会や学習発表会楽しみ



畠山 歩佳^{あゆ か}さん
(旧沼袋小)



工藤 心^{はあと}君
(旧島越小)

全校を引っ張っていける6年生になる

開校式や入学式が終わって新しい学校での生活が始まりました。全校児童が188人というたくさんの人数に増えたので、少し驚いています。同級生も急に増えたので、ちょっとだけ不安。でも、友達も増えるので、不安よりも楽しみのほうがいっぱいです。全校を引っ張っていけるような6年生になります。

島越小130年の歴史が終わったのは悲しいけど、島越小のいいところ「元気」と「あいさつ」を忘れないで、今までどおり頑張りたいです。スポ少野球ではセカンドをやることになりました。昨年の先輩たちのように「県制覇」を目指して全力で頑張ります。

いつも明るい笑顔で下級生のお手本に

3月の開校式の時は、浜岩泉小が無くなってしまうので少し寂しかったし、新しい田野畑小に行くことがちょっと不安でした。開校式は緊張したけど、浜岩泉小のみんなとも久しぶりに会えて楽しかったです。村内からみんなが集まったので急に同級生が増え、とてもにぎやかで楽しいクラスになりました。

浜岩泉小のいいところは、友達を思いやるところと笑顔を絶やさずいつも明るいところだったので、田野畑小でもそれを生かし、下級生のお手本になれるようにしたいです。みんなの勉強についていけるか少し不安だけど、たくさんの友達と一緒に頑張りたいです。

新生・田野畑小をリードする6年生 代表して6人から話を聞きました



中村 莉子^{り こ}さん
(旧羅賀小)

全校をしっかりまとめられる6年生に

新しい田野畑小の6年生になりました。全校のみんなをしっかりとまとめられる6年生になりたいです。これからのいろいろな行事は、たくさんの友達をつくり一緒に楽しみたいです。

羅賀小の開校式は、自分が通った学校が無くなるのでとても悲しかったです。それと、新しい田野畑小が楽しい気持ちと、それよりちょっとだけ大きな不安な気持ちでした。

開校式が終わり、急に人数が増えたのでビックリしていましたが、だんだん慣れてきて、今は毎日がとても楽しいです。全校188人。明るいあいさつをして、力を合わせて頑張っていきたいです。

田野畑小が開校する時は、寂しい気持ちと楽しい気持ちが半分半分でした。統合して、急に同級生が増えました。でも、これまでの体験学習やスポ少などで友達や知っている人もたくさんいるので不安は全然ありません。いろいろな人と話をして、知らなかった人とも早く仲良くなって、友達をいっぱい増やしたいです。

田野畑小伝統のスクールバンドには、ほかの小学校出身の人も体験に来ています。たくさんの友達がスクバンに入ってくれたらうれしいので、優しく教えてあげたいです。スポ少のバスケットボールでも、県大会出場を目標にして頑張ります。

たくさんの友達とスクバンをやりたい



奥地 唯斗^{ゆい と}君
(旧田野畑小)



和山 沙永^{さ え}さん
(旧浜岩泉小)



上机 莞治 村長

田野畑小開校日の平成22年4月6日は、村の小学校教育にとって歴史的な日です。同時に村にとっても、子どもたちに最高の教育環境を提供し、切磋琢磨しながら高い学力や賢くたくましく生きていく力を身に付けてもらい、将来の田野畑村の発展に貢献できる人材を育成したいという願いの実現に向けたスタートの日にもなりました。児童の皆さんは、これまで慣れ親しんできた6つの小学校と別れし、新しい田野畑小で学ぶことに少し不安もあるかもしれませんが。しかし、開校式に臨む皆さんの姿は、不安よりむしろ新田野畑小への期待の方が大きいように見受けられました。早く学校に慣れて友達をたくさんつくり、毎日の学校生活が楽しいと思えるように頑張ってください。

4月6日は村教育にとって歴史的な日 6小学校時代と同じように理解協力を

3月の各小学校の開校式は、母校への熱い思いや哀惜の念に満ちた式になりました。そして4月6つの小学校が統合し、新田野畑小として生まれ変わりました。188人の元気な子どもたちを迎え、新たな田野畑小が発足します。わたしたちが目指す学校は「輝く笑顔、やる気あふれる田野畑小学校」です。輝く笑顔ではつらつと登校できるように一人一人を大切にし、温かいふれあいのある学校にしていきたいです。また、校章の6つの輪でデザインされたように、旧6小学校の子どもたちが手を取り合い、仲良くできる学校、お互いに切磋琢磨し、やる気を持って取り組む学校を目指します。旧6小学校の良さを出し合いながら、新たな伝統を築いていきます。これまで以上に学校・家庭・地域の連携を図り、新しい学校にふさわしい校風づくりに努めますので、これまで同様のご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



早川 幸男 校長

輝く笑顔、やる気あふれる田小目指し 一人一人を大切にふれあいある学校に



3月。百数十年の歴史を持つ田野畑・沼袋・羅賀・机・浜岩泉・島越の6小学校が開校。そして4月6日「新生・田野畑小」が開校しました。8日にはかわいい新1年生19人を迎え、全校児童188人の明るく元気な声が教室に、体育館に、グラウンドに響きます。6つの小学校がこれまでの長い時間を掛けて築き上げてきた歴史と伝統は「新生・田野畑小」に引き継がれ、6つの歩みが今、一本の太い道へと変わりました。これからこの新しい道を、子どもたちが一歩一歩進み、新たな伝統と歴史を刻んでいきます。子どもたちはきっと、地域でこれまで培ってきた力を大いに発揮し、新しい小学校で活躍してくれるでしょう。わたしたちは、その歩みを見守り、そして支えていきたいと思います。学校、家庭、地域、村が一丸となり、村の将来を担う子どもたちを温かく包んであげる、そんな田野畑小学校をつくっていきましょう。

◆地域協働隊職員

行政区	担当職員	チーフ職員
北 山	平坂 礼子	久保 豊
机	久保 朋子	
池 名	佐々木貞子	佐藤 俊一
明 戸	工藤 光幸	
羅 賀	大澤 健	
	川畑 勝也	
	畠山 裕晃	
田野畑	坂本 大	石原 弘
板 橋	佐藤 和子	
西和野	三上 恵美	
和 野	畠山 哲	
菅 窪	工藤 隆彦	
七 滝	畠山 淳一	
猿 山	佐々木賢司	佐々木 靖
真木沢	晴山美恵子	
大 芦	牧原美津子	
浜岩泉	兼田 雪江	
切 牛	佐々木 修	佐々木卓男
島 越	早野 和彦	
	大森 泉	
	工藤 真樹	畠山 恵太
尾肝要	佐々木和也	
沼 袋	菊地 正次	
巢 合	金子 和也	
田代・萩	横山 順一	
甲地・千丈	佐藤 智佳	

※太字は新しく担当になった職員です

◆行政区長（24人）

住民と村を結ぶ役割をし、地区行政の推進を図ります

行政区	氏 名
北 山	佐々木仁志
机	上村 繁幸
池 名	山根 章
明 戸	中村 透
羅 賀	大澤東二郎
田野畑	佐藤 正明
西和野	畠山 勝美
和 野	三上 修一
菅 窪	畠山 守
七 滝	佐々木預助
猿 山	熊谷 康記
大 芦	佐々木忠男
真木沢	畠山 進
切 牛	穂高 育雄
浜岩泉	熊谷 章
島 越	下村 博光
板 橋	佐々木啓一
尾肝要	向川原 厳
巢 合	佐々木菊三郎
萩 牛	野崎 利良
田 代	相模 善光
沼 袋	奥地 宮志
甲 地	藤島 秀夫
千 丈	沼平 正治

行政区長など 紹介します

本年度の行政区長、交通指導員、環境美化監視員、地域協働隊職員が決まりましたので紹介します。（敬称略）

◆交通指導員（5人）

交通安全教室などで、交通安全意識の高揚を図ります

役 職	氏 名
隊 長	牧原 寿一
副隊長	箱石 大典
隊 員	鍬形 静
	佐々木禮二郎
	東 千枝

◆環境美化監視員（3人）

ごみの不法投棄を防止するためパトロールを行い、情報を村に連絡します

地区	氏 名
島 越	佐々木欣一
七 滝	畠山 源一
甲 地	佐藤 直七

新生・田野畑小学校

18人の教職員が着任

4月6日に開校した田野畑小学校の教職員を紹介します。（カッコ内は前任校）



心を一つにして、子どもたちと共に
新しい学校づくりに精いっぱい努めます

特別支援教育支援員 渡部 美幸 (旧浜岩泉小)	教諭・2年担任 吉田 玲子 (旧机小)	教諭・1年担任 小渡 修子 (旧羅賀小)	すこやかサポート 根木地 瑠美 (旧浜岩泉小)	教諭・なかよし学級担任 則竹 久美子 (旧田野畑小)	教諭・5年担任 柳瀬 直哉 (旧島越小)	上段		
事務主任 昆野 ゆかり (旧田野畑小)	養護教諭 小澤 明恵 (旧田野畑小)	教諭・3年担任 鍬形 江美子 (旧堀内小)	教諭・6年2組担任 八重樫 貴子 (千徳小)	教諭・4年担任 金子 裕輔 (旧沼袋小)	講師 松葉 太士 (旧島越小)	中段		
※このほか、 坂本順子 主任学校栄養職員と 畠山俊男 用務員を加えた18人が田野畑小の全教職員です				教諭・教務主任 畠山 利美子 (旧田野畑小)	校長 早川 幸男 (旧沼袋小)	副校長 木村 寛勇 (旧田野畑小)	教諭・6年1組担任 澤柳 健一 (旧浜岩泉小)	下段

設置期限は
平成23年5月31日

◆問い合わせ先：消防田野畑分署（☎34―2100）

住宅用火災警報器

設置しましたか？

皆さんの家庭では、住宅用火災警報器（以下、「警報器」）の設置は済みましたか？ 消防法などの改正により警報器の設置が義務付けられ、既存住宅は平成23年5月31日までに設置する必要があります。

▼どうして必要なの？

全国的に住宅火災による死者が後を絶ちません。住宅火災の死者のうち約7割が逃げ遅れが原因となっています。住宅火災による死者を減らすために、警報器の設置が不可欠です。

▼どこに設置するの？

就寝中の死者が多いことから寝室に設置します。寝室が2階の場合は階段の上部にも必要です。設置が済んだら届出書を分署に提出してください。（用紙は分署にあります）

図1 警報器の設置例

図2 警報器の設置例

※取り付けが義務付けられているのは寝室と階段（2階に寝室がある場合）ですが、安全のため台所や居室にも設置しましょう

ようこそ
田野畑へ

この春、村に異動してきた中学校の教職員と田野畑分署の職員を紹介します。

中学校

広域消防

山田貞悟 事務主任

鈴木純子 養護教諭

佐々木幸彦 校長

船越 智 消防士

吉田秀雄 消防士長

北俣 剛 消防係長

和山康弘 消防係長

中村 豊 分署長



楽しく学んで 暮らし豊かに

教育委員会は本年度、次のような講座や事業を予定しています。どれも気軽に参加できて楽しく学ぶことができます。学びは心を豊かにし、暮らしに潤いを与えてくれます。また、学びの中に新しい生きがいを見付けることができるかもしれません。皆さんも学びの扉を開いてみませんか。

区 分	事業・講座名	開催予定日
教 育 振 興	教育フォーラム in たのはた	1月23日
芸 術 文 化	青少年劇場（小中学生）	6月3日
	第36回村民文化展	11月3日～7日
青少年	交流事業	第13回友好都市小学生交流事業
	自然体験	たのはたつ子わんぱくランド（全5回）
	その他	わくわく映画会
成人・高齢者	情報教育	パソコン教室
	郷土理解	たのはた地域塾
		サクラソウ観察会
		チョウセンアカシジミ観察会
	女性教育	ヒメボタル観察会
		交流研修会
		アズビィ絵画教室
	高齢者講座	自分史集の刊行
家庭教育	家庭教育学級（小中学校と共催）	5月～2月
	親子ふれあい広場	8月上旬
スポーツ・レクリエーション	ウォーキング教室	5月29日、12月18日
	マレットゴルフ教室	7月
	村民マレットゴルフ大会	8月29日
	スポーツ交流会	8月21日
	明戸ビーチバレーボール大会	8月22日
	第40回駅伝競走大会	10月17日
	第8回健康マラソン大会	10月17日
	健康づくり教室	11月
	村民ソフトバレーボール大会	6月13日、2月13日

募集

「サークル育成事業」を実施 仲間を集めて学びませんか

教育委員会は、村民でつくるサークルの学習活動を支援しています。支援内容は、活動費の一部（講師謝金）を助成するほか、アズビィ体育館などの施設使用料を減免します。昨年度は5団体がこの制度を利用して活動しました。趣味やスポーツ、地域づくりなど、仲間を集めて学んでみませんか。

◆対象団体…会員が5人以上で、年間に5回以上の活動を行うサークルなど

◆支援の内容…

甲：予算の範囲内で講師謝礼金を助成。
ただし上限は1団体2万円。施設使用料の半額免除

乙：施設使用料の半額免除

◆申し込み・問い合わせ先…社会教育課（☎ 34-2226）

楽しく健康づくり ウォーキング教室

歩くことは気軽にできる健康づくり法です。今回の講座では、ウォーキングの基本やストレッチの方法などを学びます。春うららの田野畑路を楽しく歩いてみませんか。

◆日時…5月29日(出)

午前10時～正午

◆集合場所…アズビィ体育館

◆参加料…無料

◆申込期限…5月26日(水)

◆申し込み・問い合わせ先…社会教育課（☎ 34-2226）

わんぱくランドで サクラソウの観察

小学生を対象に行っている「たのはたつ子わんぱくランド」。本年度1回目は、田代地区に自生するサクラソウを観察します。学校をとおして申込書を配布・回収します。同日はサクラソウまつりも開催されますので、大人の皆さんもお出掛けください。

◆日時…5月22日(出)

午前10時～午後1時

◆集合場所…農村環境改善センター（沼袋）

◆問い合わせ先…社会教育課（☎ 34-2226）

全国から寄せられた善意

むらづくり基金の概要

平成19年度に導入した「田野畑むらづくり基金」。この基金は、村が提示した5つの政策メニューから皆さんに選択してもらい寄付をいただくもので、村への思いを具現化し、個性豊かで活力があるふるさとづくりを目的としています。第3期となる平成21年度は、全国各地の皆さんから総額で382万円（43件）の寄付が寄せられました。19、21年度を合わせると総額で801万1279円（243件、運用益を含む）となりました。ここでは、その概要をお知らせします。

政策メニュー別

- 平成21年度にいただいた寄付の政策メニュー別内訳は、次のとおりです。
- ①自然環境の保全…3万円（2件）
 - ②農山漁村の歴史文化保存…なし
 - ③自然エネルギーの整備…なし
 - ④福祉・健康の推進…4万円（2件）
 - ⑤子どもの教育・少子化対策…27万円（29件）
- このほか「指定なし」が34万8千円（10件）です。

寄付者の地域別

居住地別では本村が23万円（10件）、本村を除く岩手県が41万円（17件）、埼玉県が300万円（1件）、東京都が11万円（2件）、茨城県が6万円（12件）、千葉県が1万円（1件）となりました。寄付には、「アイデアを出し合い、頑張る田野畑を応援します」などのメッセージも添えられていました。預金利子も含めると21年度末の基金合計は801万1279円となりました。



「農山漁村の歴史文化の保存」も政策メニューの1つ（写真…大宮神楽「恵比寿舞」）

■メニュー別寄付の状況

（単位：円）

項 目	19 年度	20 年度	21 年度	合 計
①自然環境の保全	231,000	175,000	30,000	436,000
②歴史文化の保存	125,000	10,000	—	135,000
③自然エネルギー	55,000	10,000	—	65,000
④福祉・健康推進	215,000	170,000	40,000	425,000
⑤子どもの教育	310,000	280,000	270,000	860,000
⑥指定なし	1,733,000	862,149	3,480,000	6,075,149
寄付金計	2,669,000	1,507,149	3,820,000	7,996,149
運 用 益	—	2,823	12,307	15,130
基金合計				8,011,279

運行
スタート

村民バスが生まれ変わり 走り出した「たのはた総合バス」

タノくんバス

田野畑小が新たな歴史を刻むべく歩み出した4月。「たのはた総合バス」（愛称・タノくんバス）が夢と希望を乗せて走り出しました。

タノくんバスは、これまでの村民バスにスクールバスの役割も持たせ、児童生徒、村民の皆さんが共同で利用するバスで、誰でも無料で乗車できます。（岩泉駅や普代駅など一部有料運行もあり）

4月1日に運行を始めたタノくんバスは6日に本格的な運行を開始しました。この日は田野畑小の開校式と田野畑中の始業式が行われ、児童生徒が初めてバスを使って登校。田野畑小前には午前8時前後の約20分間に10台のバスが到着し、児童たちは出迎えた教職員に元気よくあいさつをして学校へ向かいました。

タノくんバスの運行は、小学校

統合と中学校寄宿舎「若桐寮」の閉寮を受け、小中学生の通学確保を図りながら、村民が一緒に利用することで効率性を高めることを目的にしています。新しい小学校に通う子どもたちの希望と夢を、そして皆さんの笑顔を運ぶのがタノくんバスです。車両に張った菅窪鹿踊のキャラクター「タノくん」が、バスの安全運行と皆さんの安全な乗降を見守っています。

村内を机・羅賀、島越、浜岩泉、千丈・七滝、沼袋の5方面に分け、小中学生の登下校に時間を合わせて朝1便夕3便を運行。小中学校の夏休みや冬休みなどの際はダイヤが変更になります。



- ①タノくんバスは小中学生や一般村民みんなで利用。菅窪鹿踊のキャラクター「タノくん」が安全な乗降を見守ります
- ②運転手に「ありがとうございました」とお礼を言いながらバスを降りる児童たち
- ③車内では学校のことやクラブのことなど、話し弾みます
- ④小学校前でバスを降り、先生や交通指導員に見守られながら登校する児童たち



息子が毎日楽しく乗ってます



息子2人が毎日通学で利用しています。小中高生が一緒なので楽しく乗っているようです。授業終了時間によって利用するバス時刻が違い、少し戸惑うこともあるようですが、慣れれば問題ないです。
牧原 千奈実さん（32・大芦）

みんなとバスで通うの楽しい

バスでは、いっぱいおしゃべりやじゃんけんをして遊んでいます。バスで分からないことがあっても、6年生や中学生が優しく教えてくれるから、みんなと一緒にバスで通うのがとても楽しいです。
君成田 想ちゃん（小1）



利用者に聞く

これまでは時間が合わなかったのでバスを利用することはありませんでした。今は毎朝通勤で利用しています。料金が無料なのがとてもうれしいです。欲を言えば、帰りの便が夕方6時ころだともっと利用しやすくなるんですが…。スクールバスも兼ねていて座席が少ないので、急にたくさん乗ったときどうするか、ちょっとだけ心配です。
（20代女性）

通勤で利用。無料でうれしい

3月までは若桐寮に入寮していたので、バス通学は4月からです。寮が無くなって寂しかったけど、いざバス通学が始まってみると、同じクラスの人たちと話をしながら毎日楽しく乗っています。
城内 秀学君（中3）



話しながらのバス通学楽しい

平成22年度予算を審議する第3回村議会定例会は3月10日から16日まで行い、一般会計予算を含む27議案を可決しました。一般会計予算など関連議案は、予算特別委員会（委員長・中村芳正議員、副委員長・小松山久男議員）に付託して審議しました。

※村議会だよりは広報編集委員会（委員長熊谷隆幸議員）で編集したものです。

平成22年度当初予算を可決 協働のむらづくり基本条例を制定

平成22年第3回定例会は3月10日から16日までの7日間の会期で行い、条例および21年度補正予算、22年度当初予算など27議案を可決しました。主な議案内容は次のとおりです。

- 携帯電話のエリアを拡大するため携帯電話用電送路整備の工事請負契約の締結
- 浜岩泉小跡地を岩手アライ(株)の工場等の用に供するための財産貸し付け
- 村民プールを廃止する条例
- 村民、議会および行政との協働による住民自治を推進し、生き生きとした地域社会を実現することを目的とした「協働の村づくり基本条例」の制定
- 税外収入の督促手数料および延滞金等の取り扱いについて規定する「村税外収入未収金等徴収条例」の制定
- 機能別消防団員制度を導入するため「消防団員の定員、任免、給与、服装等に関する条例」の一部改正
- 母子家庭と同様に父子家庭に対する医療費助成をするため「母子家庭医療費給付条例」の一部改正

討 論

予算特別委員会で審議した平成22年度予算について反対の立場から中村勝明議員、賛成の立場から佐々木芳利議員が討論を行いました。

反 対

中村勝明 議員

平成22年度一般会計予算および後期高齢者医療特別会計予算について次の4点を指摘して反対する。

1. 職員体制。村民バスの長期継続契約で総合評価方式の採用は改善点はあるが評価する。また、職員の勤務状況は厳しく、村民バスや児童館へき地保育所等の運営を委託しているが職員の待遇改善を求める。
2. 第三セクター。陸中たのはたの経営改善計画書が平成11年に策定されているが、改善計画通りに行っていないこと。損失補償契約は25年度まで損失を補償する義務を村が負っていることから経営計画を立てること。また、サンマッシュ田野畑に債務負担行為を起しているが会社設立当初からの損失補償契約に対し指摘する。
3. 村有財産の処分。社会福祉法人山栄会に対し、敷地を無償で長期間貸付契約を結んでいること。岩手アライへの敷地の貸付においても無償貸付けであるが軌道に乗った場合には有償貸付とすること。
4. 後期高齢者医療制度。この制度は、

賛 成

佐々木芳利 議員

障害者自立支援法に内容が共通していることにより制度の廃止、抜本的見直しを求める。
以上4点を指摘し、反対討論とする。

1. 「協働の村づくり基本条例」の制定は、これまで実践してきた協働活動をもとに作成された条例であり、協働の精神を将来に繋ぐものである。向こう10年間の「総合計画」「基本構想」の骨格となる。
2. 雇用対策は、3つの事業所で創業が予定されており、就業の場の確保が図られていること。そして保育料の無料化等を始めとする子育て支援、村営住宅の活用による定住対策等々多くの支援対策が講じられている。
3. 社会基盤整備においては、道路網の整備、津波対策、教育環境の整備、携帯電話の通話エリア拡大を始めとして安全で快適な生活に向けた数多くの事業が盛り込まれている。
4. 予算規模については、前年度比、一般会計5.5%減、全会計で0.9%減であるがプライマリーバランスが堅持され、健全な財政運営が継続されている。なお、少子化、高齢化、地方経済の冷え込み等をはじめとする社会情勢の急激な変化に伴い発生する多種多様な要望に対応するためにも新年度予算の早期執行を望み賛成討論とする。

地域活力の施策は

〈質問〉小学校統合により地域の活力低下が懸念されるが、新年度事業施策の中でどのような配慮がなされているか伺う。

〈村長〉各自治会は長い間、学校を中心としながら地域が振興してきたところです。早くから自治会などにおける地域活力の再生が重要課題であるとの認識から、これまで地域住民が主体となって地域力を推進、増進する新しい住民自治活動と、これを行政が支援する協働という形でのソフト事業の展開に努めてきた。新年度においては、従来の住民自治活動確立支援事業費助成金を拡充し各自治協議会で策定した地域づくり計画に盛り込まれたコミュニティ活動支援事業を加え、新規に協働による村づくり推進事業費補助金として提案している。

地域力の再生については、

津波に対する避難対策

〈質問〉チリ大地震で大津波警報が発令されたが避難対象世帯数238戸対象者781人中、村が指定した避難場所に避難された人数は40人と少なかった。また、近い将来発生が予想されている宮城県沖地震を想定した場合の津波対応について伺う。

〈村長〉津波による被害は幸いになかったところであり、2月28日、午前9時33分の大

津波警報が発表になる前の8時40分に気象台が太平洋沿岸に大津波警報が発表予定であることから、防災行政無線で津波に対する注意を呼び掛けた。9時33分の大津波警報が発表になってからは、防災行政無線で数回避難指示、そして長期避難となりそうであることから内陸の避難場所なども指定した。

今回の地震は震源地が外国であり、津波予想到達時刻が午前1時30分ごろと報道されたことと大津波警報という初めての警報で沿岸地域の方々には避難所でない内陸の親戚や知人宅に避難した方が多数いたようである。施設で確認できた避難者数は52人でアズビイホールに移動し宿泊された方が21人。

雇用と企業誘致

今回の大津波警報による避難者などの避難状況等課題となっており今後の避難誘導対策を検討してまいりたいと考えている。

〈質問〉岩手アライ株式会社への進出の経過と雇用の予定計画の概要について伺う。

〈村長〉昨年11月に猿山地区に岩手アライの内職作業を開設したことがきっかけとなり企業の本村進出について打診を行い、これまで協議を重ねてきたところある。

その中で、本年度末で閉校する村内の小学校を視察していただき、岩手アライ本社工場と近距離にあること、また、学校施設が耐震構造であるということが決め手となりこの浜岩泉小学校を活用することで進出が図られた。

田野畑工場は、自動車部品などの生産、検査を行い、当初40人体制でスタートすると伺っている。

一 般



熊谷 隆幸 議員

質 問

一般質問

予算規模と主要事業

〈質問〉 新年度における予算規模と主要事業は何か。

〈村長〉 新年度の予算は、一般会計が31億3200万円となり前年度当初予算比で5・5%の減となりました。特別会計を含めた全会計では44億6200万円となり、前年度当初予算比0・9%の減となったところである。

主要事業については、村の総合計画を実現するために産業振興対策として、新規就農者実践研修支援事業費補助金や新興野菜生産推進事業補助金制度の創設、また、保健福祉対策の新規事業としてがん検診の早期受診推進事業および父子家庭の医療費の助成事業などを行うところである。生活環境対策としては、公共下水道等接続水洗化事業補助金の創設、消防関係では機能別消防団員の制度や分署の高規格救急自動車の更新、少子高齢化対策としては児童館・

へき地保育所総合建築事業および保育料の無料化など、社会基盤整備はこれまでと同様にそれぞれ国県の事業、村では田野畑平井賀線の改良事業、沼袋田代線の改良の詳細設計、用地測量などを計上し、コミュニティ対策事業としては協働による村づくり推進事業費の補助金、結いの地域づくり交付金などを創設したところである。

鳥獣被害対策

〈質問〉 ホンシユウジカの日撃、牧草地、野菜畑の被害などの情報が寄せられているが対応策を伺う。

〈村長〉 ホンシユウジカについては、数年前から県北各地でも目撃され、農作物への被害などが報道されているが、本村においては目撃した情報はない。

直接被害による被害の報告は無く今後被害が発生するような事態には、被害状況により近隣市町村や県と協議の

上、対策を講じてまいりたいと考えている。

受入体制は万全か

〈質問〉 小学校統合によるスクールバスの運行および受入施設準備などの対応は万全か。

〈教育長〉 平成22年度の児童数は190名となり、うち6学年が2学級で、あとは1学年、合計7学級で、もうひとつ特別支援学級という学級を新設していただき学級数は8となる。教職員は、校長先生



バスで通学する小学生

以下16人を見込んでいます。新田野畑小学校の根幹となる学校運営計画は、統合推進実行委員会の校長部会で「進んで学び、心豊かでたくましい児童の育成」を教育目標とし各部分にわたって十分吟味された計画の成案ができています。新しい校章、校歌、校旗も出来上がっている。

また、情報教育用パソコンなど備品整備のほか、グラウンドの排水工事、バスレーンについても整備を行っている。児童の通学は、現在の田野畑学区の一部を除き、中学生と一緒に無料の総合バスを利用して登下校することになり、停留所ごとの利用児童生徒の指導計画を作成し、安全で円滑な通学に向けて準備を進めているところである。

福祉灯油の検討は

〈質問〉 村内の経済や景気は依然として好転しているとは思われないが、以前実施していた福祉灯油等検討したか。

〈村長〉 平成21年度4月以降の灯油価格を調査したところ、平成19年度から20年度当時の原油高騰の影響はほとんどなく、灯油価格は大幅に下回り、1リットル当たり60円から80円程度と安定していることから福祉灯油の助成は実施しないこととした。

無償貸し付けと 環境汚染は

〈質問〉 浜岩泉小学校跡地への岩手アライ田野畑工場新設に伴う敷地の貸し付けについて、ここ数年は無償貸し付け

することとなっているが、経営が軌道に乗った場合有償貸し付けとすべきではないか。また、環境汚染については万全であるか伺う。

〈村長〉 今議会に無償貸し付けの議案を提案し、昨日全員で可決をいただいた。今村政の最大課題は、雇用の場の創出である。企業誘致は内陸部などでも工業団地などのインフラ整備や充実した補助制度など、優遇措置を講じている場合が多い中であって、本村を含む県北沿岸地域などの条件不利地域では一朝一夕になし遂げられるものではなく理解をいただきたい。今回財政支出を伴わない企業誘致が実現できたことは、幸運であった。また、同事業所は関係機関の厳格な審査の上、ISO

漁業の担い手対策は

〈質問〉 宮古市において、漁業後継者育成制度として新規の漁業就労者に対して支援制度創設、または、養殖わかめ共済の掛金の助成制度を拡大しているが村でも検討していただきたいが村長はどう考えているか。

〈村長〉 1次産業の担い手対策は、振興上重要な課題であり、新年度においては農業分野で新規就農者の実践研修支援制度を新設したところである。漁業においては漁業権の行使との問題があり、漁業権を持つている漁業協同組合とのかかわりがあり非常に強いわけで、新年度創設できなかった大きな要因である。今後漁協等との詰めを行い検討



寒さ厳しい真冬の海でのワカメ間引き作業（資料写真）

を重ねてまいりたいと考えている。

わかめの共済掛金への助成についてであるが本村では、10割をかき上げしている。近隣の市町村においては、ゼロから20割と各市町村によってちがうわけであるが、今後のわかめの養殖の状況などを見ながら今後の検討課題としてまいりたいと考えている。

佐々木 芳利 議員

中村 勝明 議員

一般質問



田野畑駅に設置された旅客通路の渡り初めをする出席者

通路設置で高齢者利用便利に

三陸鉄道の田野畑駅に、駅前とホームを結ぶ旅客通路が完成しました。完成セレモニーは4月17日、同駅で行われ、山口和彦三陸鉄道社長や上机莞治村長、大澤東二郎羅賀自治会長など30人が出席。上机村長は「高齢者などが利用しやすい駅になった。これを機にさらなる活用を図りたい」とあいさつ。これまで駅舎からホームまでは42段の急な階段でしたが、通路の完成で緩やかな13段の階段に。また安全確保のために遮断機と警報器を設置しました。

牛乳配り安全運転を呼び掛け

村、交通安全協会田野畑支会、交通安全母の会などは、春の全国交通安全運動期間初日の4月6日、道の駅たのはたで交通安全キャンペーンを行いました。集まった約40人は、用意した交通安全啓発チラシやたのはた牛乳をドライバーに配り、シートベルトの正しい着用やライトの早め点灯を呼び掛けました。若桐保育園の中村海翔君(5)は、お母さんと一緒に「気を付けて運転してください」と大きな声で元気よく手渡していました。



霧が立ちこめ肌寒い中でも元気に交通安全を呼び掛け



少年補導職員の説明を真剣に聞く若桐保育園の子どもたち

園児たち防犯と交通安全学ぶ

春を迎え、村内の児童館や小学校では防犯・交通安全教室が行われました。このうち若桐保育園は4月21日に教室を開き、防犯や横断歩道の渡り方などを楽しく学びました。岩泉警察署の少年補導職員が人形を使いながら、「知らない人についていかない」や「横断歩道の渡り方」などを分かりやすく説明。その後、実際に国道の横断歩道に移動して信号機の見方や横断歩道の渡り方を学びました。子どもたちは「交通事故に気を付けます」と誓っていました。

田小で統合後初めての入学式

田野畑小（早川幸男校長、児童188人）の入学式は4月8日、同校体育館で行われました。統合して初めての入学生は19人。元気でかわいらしい新1年生たちは、少し緊張しながらも担任の先生に名前を呼ばれると元気よく返事をしていました。若桐保育園の畠山厚子園長は「卒園から1カ月がたちました。皆さんを見てみると、今日が待ちきれなかったと感じます。お兄さんたちにかわいがってもらい、楽しく勉強してください」とお祝いの言葉を送りました。



ちょっぴり緊張気味のかわいらしい新1年生たち



誓いの言葉を力強く述べる有谷拓夢君

真新しい制服まとい中学生に

田野畑中（佐々木幸彦校長、生徒121人）の入学式は4月7日、同校体育館で行われ、新入生47人が真新しい制服に身を包み、新たな学校生活をスタートさせました。佐々木校長は「今日から中学生です。田中生としての自覚を持ち、自分らしさを発揮して頑張ってください」と式辞。新入生を代表して有谷拓夢君は「伝統ある田中に入學できて本当にうれしいです。自分から進んで行動し、自分の行動に責任を持って生活します」と力強く誓いました。

元気に「ハイ」。最後の入園式

4月13、14の両日、村内の児童館・保育所では統合前最後の入園式が行われました。13日の机保育所入園式には、新入園児2人と在園児4人、保護者などが出席。新入園児の三上向日葵ちゃん(3)は先生の呼名に「ハイ」と元気な声で返事をしていました。在園児の4人は「ブロックで一緒に遊ぼうね。お片付けの仕方も教えてあげるね」と入園を歓迎。新入園児の北田航太君(3)は「お友達とおもちゃでいっぱい遊びたい」と笑顔を見せていました。



在園児からチューリップの歌をプレゼントされる向日葵ちゃんと航太君

お知らせ

村からのお知らせ

地デジチューナーを無償給付

総務省では、経済的な理由などで地上デジタル放送を見ることができない世帯に対して、簡易なチューナーの無料給付などの支援を行います。

◆対象…NHK受信料全額免除世帯で、生活保護世帯や障がい者のいる世帯全員が村民税非課税の世帯など

◆受付期間…7月2日(金)まで
※翌年度の受付期間は未定です

◆その他…申し込みにはNHKと受信契約を結び、全額免除が適用されることが必要です。支援は現物給付です。購入したチューナーやアンテナ改修などの費用は対象になりません

◆申し込み・問い合わせ先…健康推進課 (☎ 33-3102)

「空き屋バンク」に登録を

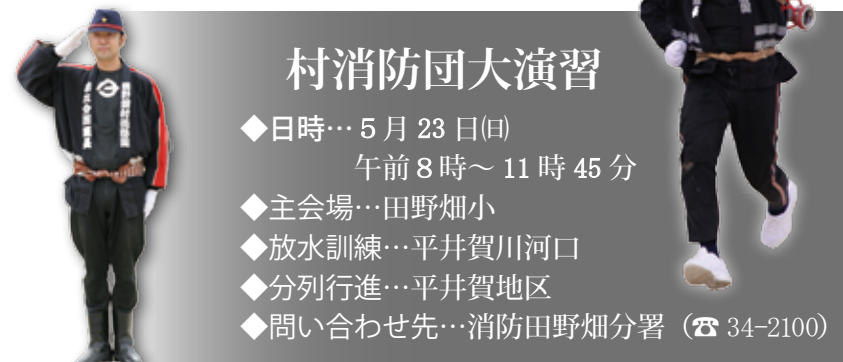
住居として使用していない家屋などのうち、賃貸借や売買が可能な物件の情報をお寄せください。寄せられた情報は「空き屋バンク」に登録し、移住・定住希望者などへ紹介するために利用させていただきます。

◆問い合わせ先…政策推進課 (☎ 34-2111 内線 62)

診療所からお知らせ

◆休診日…水・土曜の午後、日曜・祝日

◆問い合わせ先…診療所 (☎ 33-3101)



村消防団大演習

◆日時…5月23日(日)
午前8時～11時45分

◆主会場…田野畑小
◆放水訓練…平井賀川河口
◆分列行進…平井賀地区
◆問い合わせ先…消防田野畑分署 (☎ 34-2100)

土地の立入りにご協力を

村は、携帯電話鉄塔整備のため、5月上旬から国道、県道、村道、私有地にある既設電柱などに光ファイバーケーブルを順次敷設します。私有地に立ち入るの工事を行いますので、協力をお願いします。また、道路では片側交通規制などが行われますので、通行には十分注意してください。

◆問い合わせ先…政策推進課 (☎ 34-2111 内線 63)

防火管理者講習会を開催

再講習会

◆日時…6月21日(月)
午後1時30分～5時

◆対象…甲種防火管理者で資格取得から5年以上経過した人

◆受講料…2,000円

資格付与講習

◆日時…6月22日(火)～23日(水)
午前9時～午後5時

◆対象…防火管理上、管理的または監督的な地位にある人

◆受講料…4,000円

共通事項

◆場所…宮古消防本部体育館

◆応募期限…5月9日(日)

◆申し込み・問い合わせ先…消防田野畑分署 (☎ 34-2100)

危険物取扱者講習会を開催

危険物取扱者試験にむけた準備講習を開催します。

◆開催期間…6月5日(土)～23日(水)

◆開催地…久慈市、一関市、北上市、釜石市、奥州市、盛岡市
※久慈市は6月5日、6日に開催

◆受講料…会員・学生 8,500円、非会員 13,500円

◆講習内容…乙種第4類と丙種(講義は乙種第4類が主体)

◆願書配布・問い合わせ先…岩手県危険物安全協会連合会 (☎ 019-654-3991)、消防田野畑分署 (☎ 34-2100)

その他のお知らせ

フリーマーケット出店者募集

◆出店資格…宮古広域管内に住所を有する人

◆募集店舗…30店(出店は無料)。売り場面積は2.5㍍×2.5㍍

◆開催日時…5月30日(日)
午前9時～正午 ※雨天中止

◆開催場所…宮古広域リサイクルセンター内敷地

◆申し込み・問い合わせ先…宮古広域リサイクルセンター (☎ 0193-64-7111)

福祉バザーに品物の寄付を

村社会福祉協議会では、6月に開催される「たのはた牛乳まつり」で福祉バザーを行います。ご家庭で不用な品物などがありましたら寄付のご協力をお願いします。

◆届け先…村社会福祉協議会または地区民生委員

◆申込期限…5月28日(金)

◆その他…衣類は未使用品のみとさせていただきます。品物の回収を希望する人は、電話で連絡してください。福祉バザーの売上金は、村社会福祉協議会の活動資金として活用させていただきます

◆問い合わせ先…村社会福祉協議会 (☎ 33-3025)

ボイラー実技講習を開催

◆日時…5月29日(土)～31日(月)
午前9時～午後5時
※連続3日間の受講が必要

◆会場…岩手教育会館(盛岡市大通1-1-16)ほか

◆受講料…19,000円

◆申し込み方法…支部備え付け申込書に受講料を添えて申し込んでください

◆定員…60人

◆申し込み・問い合わせ先…(社)日本ボイラ協会岩手支部 (☎ 019-624-5139)

5月の無料法律相談

◆期日…5月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)

◆時間…午前10時～午後3時

◆場所…宮古市役所

◆申し込み…宮古市市民相談室 (☎ 0193-62-2111)

人口と世帯	火災
4月1日現在()は前月比	(3月20日～4月20日)
人口 3,976人 (-52)	火災の【今月】 0件
男 1,954人 (-20)	発件数【今年】 1件
女 2,022人 (-32)	無火災の連続記録
世帯 1,428世帯 (-19)	(4月20日現在) 33日

断酒会員が相談に応じます

アルコールの問題で悩んでいる人やその家族を対象に、相談窓口を開設します。

◆日時…5月12日(水)

午前10時～11時30分

◆会場…岩泉町保健センター

◆相談員…盛岡中央断酒会員

◆問い合わせ先…宮古保健所 (☎ 0193-64-2218)

自殺予防相談窓口を設置

ストレスや不眠、自死遺族などの相談に保健師が応じます。

◆日時…5月13日(木)

午前10時～正午

◆会場…宮古地区合同庁舎

◆申し込み方法…前日までに電話で申し込んでください

◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所 (☎ 0193-64-2218)

肝炎検査など無料で実施

宮古保健所では毎月1回、HIV抗体検査と肝炎検査、性器クラミジア抗体検査を行っています。検査日に合わせて骨髓バンクの登録も行っていますので利用してください。

◆実施日…5月25日(火)

◆受付時間…
各種検査 午前9時～10時
骨髓バンク 午前10時～11時

◆場所…宮古地区合同庁舎(宮古市五月町1-20)

◆料金…無料

◆予約方法…前日までに電話で予約してください。検査や相談は匿名で受けることができます

◆結果…検査を受けてから10日前後でお知らせします

◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所 (☎ 0193-64-2218)

「サクラソウまつり」と「野生サクラ草サミット」を開催します

サクラソウまつり実行委員会では、希少野生植物サクラソウの観察などを行う「第2回サクラソウまつり」を開催します。

午後1時から、サクラソウに関心がある県内外の団体や個人が集まり意見交換をする「野生サクラ草サミット」も開催されます。どなたでも参加できますので、多数ご来場ください。

◆期日…5月22日(土) ※雨天決行
サクラソウまつり

①時間…午前10時～正午

②場所…田代地区

③内容…サクラソウ観察、農道見学、チョウセンアカシジミ幼虫観察、物販など

野生サクラ草サミット

①午後1時～4時15分
②農村環境改善センター(沼袋)
③実践発表交流、講話

◆申し込み方法…5月13日(木)までに電話またはFAXで申し込んでください

◆申し込み・問い合わせ先…サクラソウまつり実行委員会事務局 (☎・FAX 34-2816)



広報クイズ

★仕事は？

特別養護老人ホーム「リアス倶楽部」で栄養士をしています。栄養士として仕事を始めたばかりですが、毎日楽しく仕事をしています。利用者の皆さんの好みに応じて、食事をおいしく食べていただけるよう心掛けています。

★村の印象は？

盛岡の出身で、1年前にお嫁に来ました。自然がいっぱいで、ウニやイクラが食べ放題。盛岡に比べて、ずいぶんと雪が少ないなあと感じます。

★休日は何をしていますか？

趣味のパンやケーキ作りです。釣りも好きで、夫と一緒にチ力釣りにもよく行きます。

★今後、挑戦したいことは？

1歳の息子がもう少し大きくなったら、一緒にパン作りをしたいですね。夫やお父さん、息子と一緒にアユ釣りにも挑戦したいです。

★最後に一言お願いします！

田野畑に来てまだ日が浅いので、分からない事がいっぱいです。いろいろと教えてくださいね。



熊谷 ^{やよい} 弥生さん (22) = 羅賀 =



^{じょう} 竹花 永生くん (1歳3カ月)

父・卓郎さん、母・順子さん=猿山=

好き嫌い無く何でもモリモリ食べる子です。車のおもちゃを押しながら家の中を走り回って遊んでいます。元気でたくましく、丈夫に育ってね。

わが家の
アイドル



お母さんからの
ひとこと



^{げんぶ} 牧原 玄武くん (1歳5カ月)

父・弘孝さん、母・真理さん=大芦=

イチゴや豆腐が大好きでよく食べます。いつも車のおもちゃと車の絵本で遊んでいます。これまでどおり、明るく元気で健康に育ってほしいです。

編集ごぼれ話

快く取材に協力していただいた皆さん、そして広報を読んでいただいてる皆さん、今月も無事に発行することができました。本当にいつもありがとうございます▼4月6日、新生・田野畑小が開校しました。正直なところわたしは、母校が開校した寂しい気持ちを引きずったまま開校式の取材に臨みました。でも、子どもたちの姿を見て、そんな気持ちはすぐに吹き飛んでしまいました。友達と楽しそうにおしゃべりする姿、あいさつする人をじっと見つめるキラキラ輝く瞳、新しい校歌を元気いっぱい歌う表情。子どもたちはすっかり新しい1歩を踏み出していました。新年度を迎え、わたしも新たな気持ちで頑張らなければと決意▼4月に入ってから、何回も雪が降りましたね。今年の春はいつたどこへ行ってしまったんでしょうか。村内の桜の開花はまだ聞かなくてききょうもありません▼もう少しで山菜採りの季節です。クマに注意、そして山火事を起こさないようにしましょう。

(政策推進課 佐々木和也)